

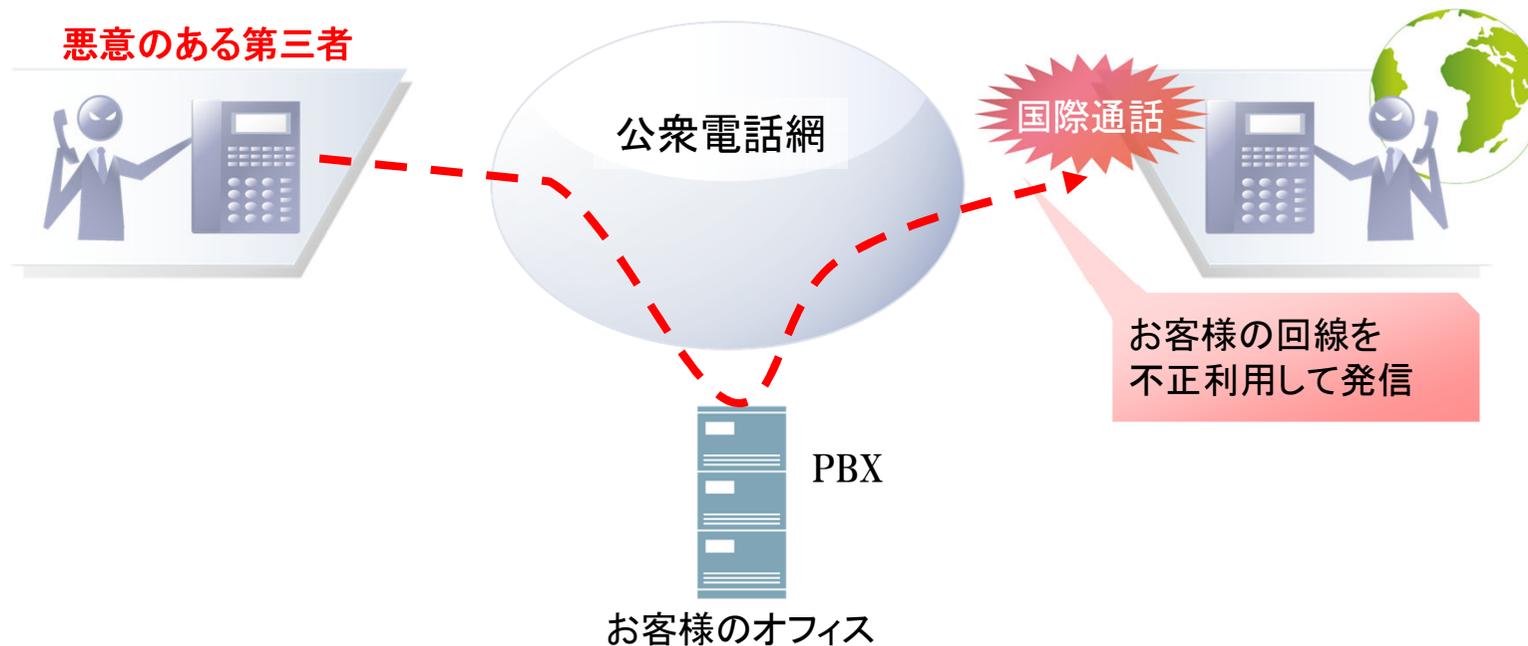
第三者によるIP電話等の 不正利用への対策について

PBX編

1. 不正利用 事象例①と予防策

事象例①

悪意のある第三者が、お客様のPBXを踏み台として、あたかも、お客様の電話が発信しているかのように国際通話等を行う事象。(公-公接続)



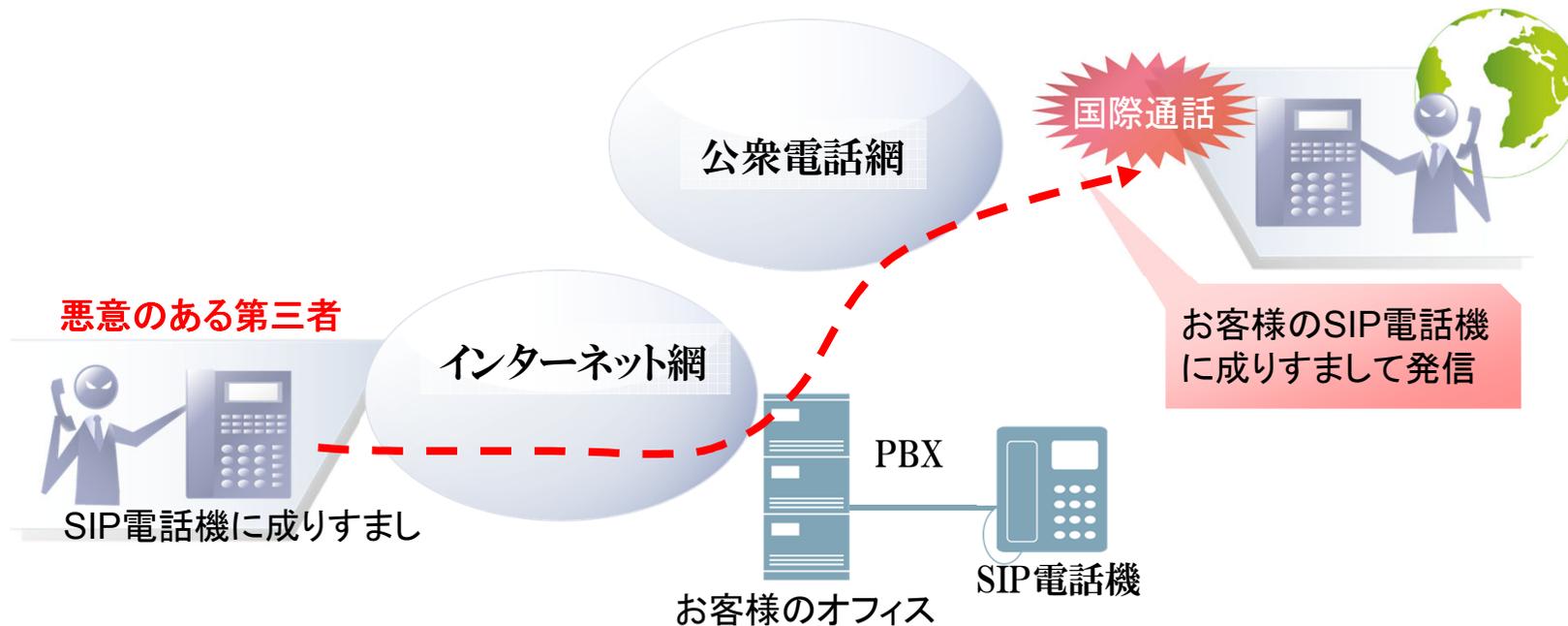
予防策①

悪意ある第三者からPBXに着信した際に、PBXにてID/パスワードを設定する認証機能を導入することにより、第三者からの不正利用を予防できます。

2. 不正利用 事象例②と予防策

事象例②

インターネット網のIP回線から接続し、PBX配下のSIP電話機に成りすまし、あたかも、お客様のSIP電話機から発信しているかのように国際通話等を行う事象。



予防策②

SIP電話機をPBXに接続する際、IP電話機からのREGISTER登録において、パスワードによるダイジェスト認証機能により、不正なSIP電話機の接続を規制することが可能です。

3. その他の注意事項

第三者による不正利用を防ぐために、下記のように、交換機等の設定および注意事項に留意していただくことを推奨します。

- IP-PBXは、外部からの不正アクセスをさせないようにしてください。外部インターネットと接続する必要がある場合は、ファイアウォール等でセキュアなネットワーク設計をしてください。
- 国際発信を行わないお客様は、通信キャリア側の設定で国際発信接続を規制すること。
- 国際発信を行わないお客様は、PBXで国際発信を規制する設定にすること。
- 公-公接続を行わないお客様は、公-公接続の設定を行わないこと。
- 認証機能のID／パスワード等の扱いについては、第三者に情報流出(漏洩)がないよう管理を徹底すること。
- パスワード等の設定は、定期的に変更すること。